

2018年11月1日

会社名	株式会社 高島屋
代表者名	取締役社長 木本 茂
コード番号	8233
連絡先	広報・IR室長 園田 早苗 (大阪) 06-6631-1101 (東京) 03-3211-4111

2018年10月度 高島屋店頭売上速報

■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

大 阪 店	+7.2	立 川 店	△5.4
堺 店	△3.4	大 宮 店	+8.5
京 都 店	+5.0	柏 店	+7.3
泉 北 店	+5.4	(株)高島屋単体 13店舗	+3.9
日 本 橋 店	+1.5	岡 山 高 島 屋	△1.0
横 浜 店	+3.6	岐 阜 高 島 屋	△1.5
港 南 台 店	+1.6	米 子 高 島 屋	△1.2
新 宿 店	+3.1	高 崎 高 島 屋	△3.5
玉 川 店	△2.4	(株)高島屋単体 および 国内百貨店子会社 17店舗	+3.5

※京都店の売上高は「洛西店」を含みます。

※横浜店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン 新横浜店」「タカシマヤ スタイルメゾン海老名店」、柏店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」、岡山店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン 岡山店」を含みます。

※日本橋店は9月からレストラン街の運営を子会社に移管したため、それらを調整した実質では前年比+3.9%となります。

■ 概況

○10月度の店頭売上は、前年と比較し日曜日が1日少なかったものの、国内消費が好調に推移したことに加え免税売上も回復し、前年を上回りました。なお、免税売上は前年比+3.0%となりました。

○店舗別売上は、日本橋高島屋S.C.開業効果により売上を伸ばした日本橋店をはじめ、大型5店全てが前年比プラスとなりました。地方郊外店では泉北店・港南台店・大宮店・柏店が前年を上回りました。

なお、立川店・堺店・米子店は前年同月比で売場面積が縮小しております。

日本橋店も、9月からレストラン街の運営を東神開発に移管したため、百貨店としての売場面積が縮小しております。

○商品別売上は、特選衣料雑貨（当社分類による17店舗ベース、以下同じ）・宝飾品・食料品が大きく売上を伸ばしたほか婦人雑貨・スポーツ・リビングが前年比プラスとなりました。一方で、紳士服・紳士雑貨・婦人服・子供服ホビーなどは前年に届きませんでした。